

# Meraki MSおよびMXデバイスのレイヤ3インターフェイス設定の問題のトラブルシューティング

## 内容

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[問題](#)

[解決方法](#)

## 概要

このドキュメントでは、Meraki MSおよびMXデバイスのレイヤ3インターフェイス設定の問題をトラブルシューティングする方法について説明します。

## 前提条件

### 要件

次の項目に関する知識があることが推奨されます。

- Merakiソリューションに関する基礎知識
- Meraki MSスイッチの設定に関する問題
- Cisco Meraki MXセキュリティアプライアンスでの設定の公開

### 使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づいています。

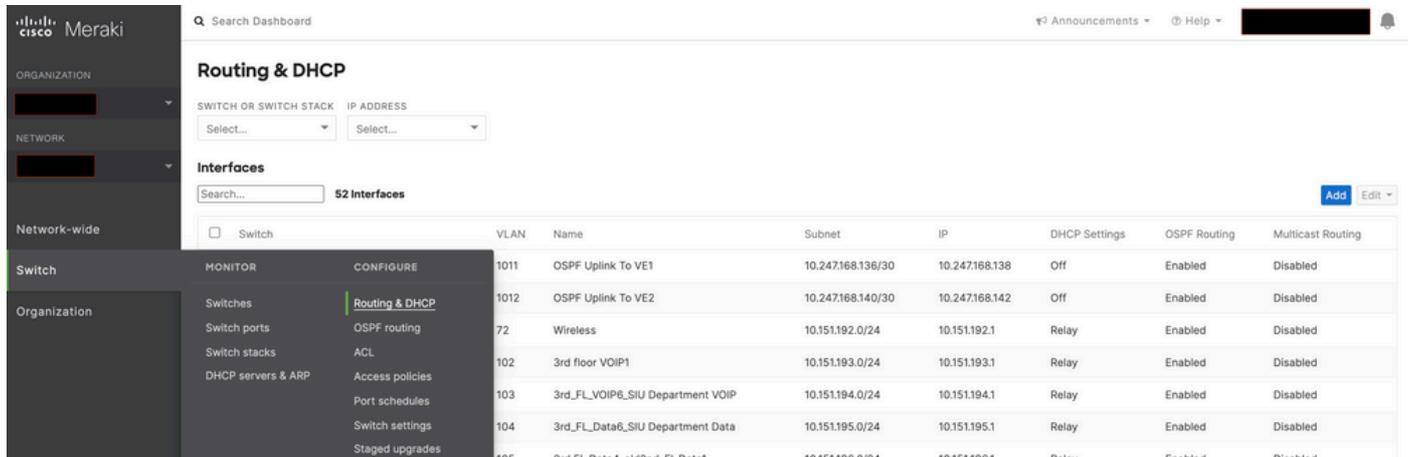
- MS 15.8より前のリリースのMeraki MSスタックスイッチおよびソフトウェアバージョン。
- MX 15.8より前のCisco Meraki MXセキュリティアプライアンスおよびソフトウェアバージョン

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期（デフォルト）設定の状態から起動しています。本稼働中のネットワークでは、各コマンドによって起こる可能性がある影響を十分確認してください。

## 問題

Merakiスタックスイッチに新しいレイヤ3インターフェイスを追加する手順：

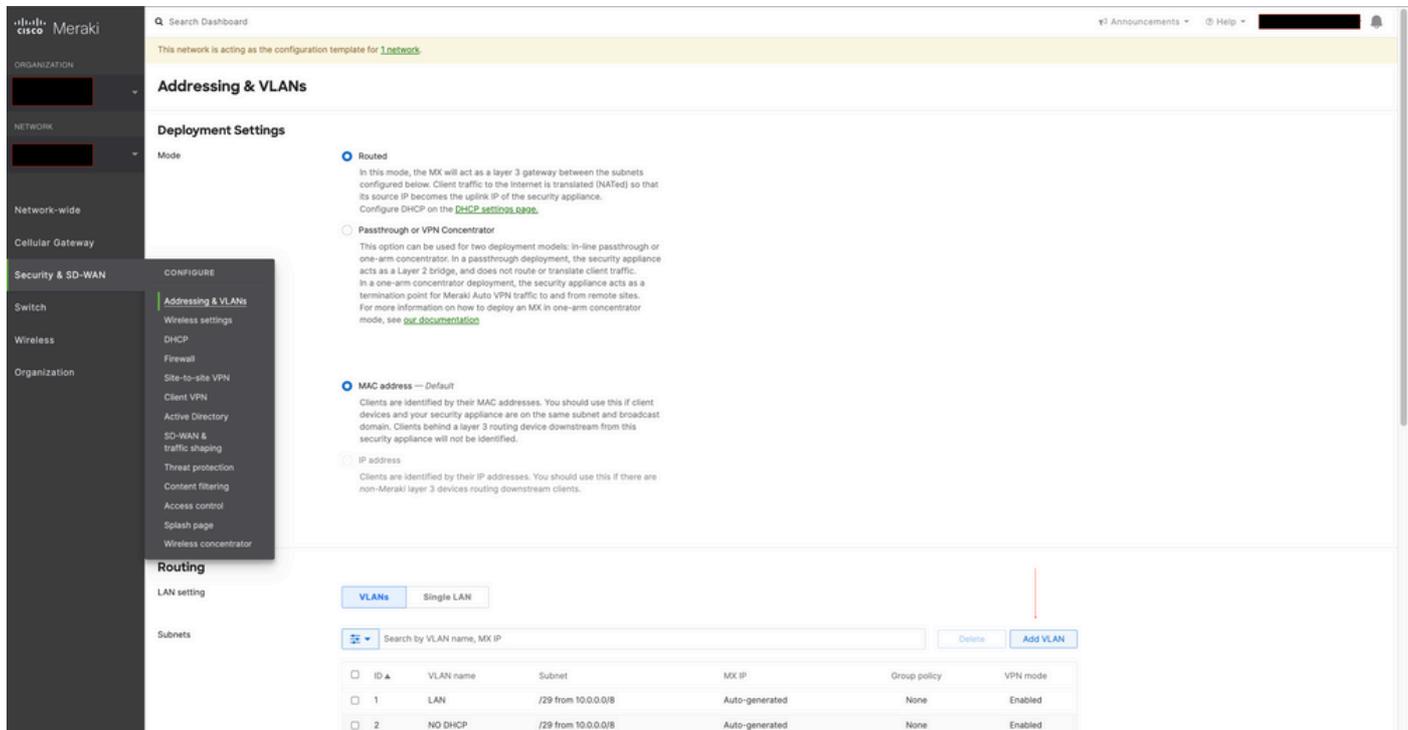
1. Merakiダッシュボードにログインします。
2. 図に示すように、[Switch] > [Configure] > [Routing & DHCP] に移動します。
3. [Interface]セクションで[Add]をクリックします（図を参照）。



Meraki MSスイッチルーティングおよびDHCP設定

Meraki MXセキュリティアプライアンスに新しいレイヤ3インターフェイスを追加する手順：

1. Merakiダッシュボードにログインします。
2. 図に示すように、[Security & SD-WAN] > [Configure] > [Addressing & VLANs]に移動します。
3. 図に示すように、[Routing]セクションで[Add VLAN]をクリックします。



Meraki MXセキュリティアプライアンスルーティング設定

Meraki MS425スタックスイッチおよびMeraki MXセキュリティアプライアンスで新しいレイヤ3インターフェイスを設定する場合は、「観察された症状」を参照してください。

1. MerakiスタックスイッチとMXセキュリティアプライアンスがMerakiダッシュボードで到達不

能ステートになり、Meraki MSスイッチとMXセキュリティアプライアンスデバイスがMerakiダッシュボードへの接続を失いました。

2. MerakiスタックスイッチとMeraki MXセキュリティアプライアンスがトラフィックの転送を停止します。

3. L3インターフェイスを変更すると、Merakiスタックスイッチがトリガーされ、Meraki MXセキュリティアプライアンスがルートに対して誤ったVLANを番号します。

## 解決方法

Meraki MSスタックスイッチ：

1. Merakiスタックスイッチに新しいレイヤ3インターフェイスを追加し、スタックスイッチをリブートします。これにより、正しいVLANルート情報が更新され、Merakiスタックがトラフィックの転送を開始します（一時的な修正）。

2. MerakiスタックスイッチソフトウェアバージョンをMS 15.8以降のリリースにアップグレードします。

Meraki MXセキュリティアプライアンス：

1. MXセキュリティアプライアンスに新しいレイヤ3インターフェイスを追加し、MXセキュリティアプライアンスをリブートします。これにより、正しいVLANルート情報が更新され、Merakiセキュリティアプライアンスがトラフィックの転送を開始します（一時的な修正）。

2. Meraki MXセキュリティアプライアンスソフトウェアバージョンをMX 15.8以降のリリースにアップグレードします。